



れんげ畑

鴻巣市立鴻巣中央小学校
令和2年10月号

学校教育目標
キャッチフレーズ
ホームページ

【知】友と学ぶ子 【徳】心の豊かな子 【体】体をきたえる子
「はきはき・にこにこ・きびきび」
<https://kochuo-e-konosu.edumap.jp/>

児童数371人

雑感

校長 清水 励

爽やかな風の吹く秋晴れの下、延期されていた運動会を28日(月)に無事行うことができました。今年の運動会は、半日日程で参観者制限をさせていただくなど、例年とは異なる方法での実施となりました。平日開催にもかかわらず、多くの保護者の方々の御来校と御声援をいただき、ありがとうございました。全校児童が一堂に会し、協力し合い競い合い、そして、友だちの一生懸命に頑張る姿を見合うことの教育的価値を強く再認識した運動会でした。学校では、運動会だけでなく、児童の安全を最優先しながら、各活動の「ねらい」を明確にした上で、その実施方法等についての検討をしております。各活動を「例年どおりにできない」ということが残念なこともあります。 「活動の趣旨を全体の中で見直す契機」として、より「ねらい」にせまることのできる教育活動を行っていきたいと思います。

話は変わりますが…。

最近、「家畜や果物の盗難事件」に関するニュースをよく見聞きします。関東北部を中心に広く発生していますが、行田市で子豚が130頭、白岡市で梨が1,600個盗まれるなど、私たちの身近な地域でも起こっています。農家の方が苦労して育ててきたものを、自分(たち?)のためだけに平気で奪っていく人間がいる。これは、とても残念で悲しいことと思うと同時に、私たちの国「日本」のよさが失われていく危機感を感じるのは、私だけではないのではないのでしょうか。

日本にきた外国の方が驚くことの一つに、日本の道端で見かける「無人販売所」があるそうです。野菜などを「一袋〇〇円」と値段を表示して置いておき、買いに来た人は自分で代金箱にお金を入れて品物を持っていく「無人販売所」です。世界には多くの国がありますが、日本のように夜間に一人で出歩けるほど治安がよく、国民全体の道德心の高い国はそう多くありません。ですので、外国の方は、日本人がお店の人がいなくてもきちんとお金を払うこと、代金箱を壊して持って行かないことに驚くようです。日本以外の国では、「無人販売所」はおろか、日本ではどこにでもある「飲み物の自動販売機」ですら壊されてお金が盗られてしまうので、郊外に設置できない国がほとんどのようです。

さて、そんな日本で起きてしまっている「果物や家畜の盗難事件」。私たちの生活の中では、互いの道德心や良心を信じることで成り立っていることが多くあります。日本を、すべての畑に防犯カメラや防護柵が必要な国、道端から「無人販売所」や「自動販売機」も無くなるような国に、絶対にしてはならないと強く強く願っています。

子供の社会は大人の社会の写し鑑です。コロナによる影響で様々なゆとりを無くしてしまいがちですが、私たち大人が、人として大切にすべきことを失わずに子供たちに接し、この時代を過ごした子供たちが、私たち以上に人として素晴らしい大人に成長できるよう、保護者・地域の皆様と連携・協力を図りながら取り組んでまいりたいと思います。子供たちの健やかな成長には、互いを尊重し合いながら「人を信じる・人から信じられる」ということが基盤であることを忘れずに。